

まつやま支部だより



ミランクラブジャパン松山支部
支部長 奥川 睦

ナマステ！ 又々正月がやってきました！！

子供の時は、何によらず別れが悲しくて除夜の鐘を聴きながら、ゆく歳に涙したものでした。いつの間にか去年今年つらぬく棒のごときもの>（虚子）で、日常の連続を生きてきて70余年。<思へば遠くへ来たもんだ>です。

さすがに色々考える所あり、長年憧れてきたシンプルライフに、大きくカジを切りました。廃車（免許返上）・那須のセカンドハウス整理・パソコン一式プリンターごとNPO支援センターへ寄付・玄関のチャイム Fax 固定電話も取り払い、ガラケーのみ。

一騎当千とはいきませんが、わずかに首の皮一枚ミランは続けます。これまでの無理をし過ぎてバタンキューを反省。「出来る時、出来ること、出来るだけ」をモットーに！シンプルにスッキリ生きたいと思っています。おもいはかなうか??? ハラハラドキドキの新年です。ご迷惑をかけますが宜しく！

【表紙の言葉】

ミランクラブの元里子、スニタ・スレスタさんは現在デンタルクリニックで事務職に就いている。

自身の学校時代を振り返り、奨学金を受け取った日々を思い出し、自立できている今を会員の皆様に感謝している。

2017年12月13日付
読賣新聞記事より

ネパール総選挙 親中左派が優勢

小選挙区で議席7割

【イスラマバード＝田尾茂樹】11月26日と12月7日に投票されたネパールの総選挙（下院選、定数275）で、同国選挙管理委員会が12日までに発表した開票結果によると、小選挙区（定数165）で親中国派とされる「左派同盟」が約7割の議席を確保した。今後開票される比例選（同110）でも左派は優勢とみられており、左派の圧勝で、中国に傾斜した政権が誕生する可能性が高まっている。

選管の集計によると、議会第2党の統一共産党と第3党のネパール共産党毛沢東主義派が結成した左派同盟は、小選挙区で113議席を得たほか、4選挙区でリードしている。一方、親インド派とされる第1党のネパール会議派は21議席の獲得にとどまっている。